

事業者：庄内青果市場みらいづくり協議会

計画概要

地域の特産品である「庄内柿」を対象として、産地での共同出荷、出荷規格の統一（標準箱の導入）及び標準パレットを活用した仲卸の共同物流を実施することにより、物流の効率化及び流通コストの削減を図る。

目標

物流の効率化及び流通コストの削減を図り、令和12年度までに、集荷コストを31.8%削減、荷積み時間を33.3%削減、輸送コストを33.3%削減（いずれも令和7年度比）する。

食料システムへの寄与

共同出荷等により生産者の出荷負荷及び流通コストの軽減を図り、農林漁業者の経営安定、産地の維持・発展に寄与する。

また、出荷規格の統一等を通じた持続的な物流体制の構築により、消費者に対する安定供給の確保、円滑な流通の実現に寄与する。

計画のイメージ

